

CITY & LIFE

都市のしくみと暮らし

WINTER

1990

18

特集

都市とホール



都市再開発事業で、ホールを組み込んだ複合施設の計画が目につく。ウォーターフロントが都市再開発の立地の面で話題を提供したとすれば、ホールは、都市施設の面で、文化の時代にふさわしいシンボルである。公共においては地域活性化の目玉として、民間においては企業文化戦略の一環として、ホールは今、大いに注目されている。それにしても、いまやホール全盛時代である。ざっと見渡してみても、この10年間で50余りのホールが建設されたという。しかも、そのニーズは高まるばかりで、今後も注目されるホールの建設が目白押しだ。文化の時代の、文化創造の拠点としてのホール。都市における、また市民におけるホールの意味について考えてみたい。

CONTENTS

〈対談〉ホールは都市を生き返らせるか	2
／鈴木健二／松葉一清	
ヨーロッパにおけるホールの歴史	8
／斎藤義	
〈鼎談〉都市のホール	16
／田村晴也／清水裕之／松岡和子	
ホールの現在	24
〈ルポ〉個人史のある空間	32
〈ルポ〉芝居が始まる	37
／木部与巴仁	
ホール・カタログ	42
〈年表〉世界のホール・日本のホール	44
〈都市を拓いた人々1〉札幌	46
／吉田豊	
バックナンバーのお知らせ	48

